

第 283 回 日本経営倫理学会・理念哲学研究部会 例会の議事録

部会長 村山元理

日時 令和 6 年 2 月 22 日 (木)、16 時 45 分～18 : 25 分 (1 時間 45 分)

録画の記録 :

参加者 (5 名)

研究報告

村山元理「財界人中島久万吉を研究した背景—博論完成への過程 : なぜ当初の博論はボツになったのか?」

- ・単著『中島久万吉—高僧といわれた財界世話役の研究』(文眞堂、2023 年 2 月)を公刊。修士課程での挫折と研究歴。43 歳の挑戦。博士論文作成で 2 度ボツになった理由。
- ・リサーチ・クエスチョンを立てるのに 4 年間もかかった。経営史学からの RQ の立て直し、限定化させたこと。タイトルの大切さ。余分な資料は捨てることの大切さ。

ディスカッション

- ・特定の人物を研究する意義
- ・精神的指導者が現代経営にもつインプリケーションとは?
- ・修士論文と博士論文の違いは?
- ・経営者の 3 類型は、アンケートを使った実証的モデル化へ。

今後の部会の運営について

開催頻度 : 年に 4 回を部会長の村山が開催。

それ以外の月は、希望者による開催とする。

次回の開催

3 月、4 月は休み。

2024 年 5 月 8 日 (水) 18 : 00～19 : 30 オンライン開催

<https://meet.google.com/rdw-cfeu-uzo>

発表者 : 村山元理

テーマ : 海外のパーパス研究の概要と批判

(昨年度日本マネジメント学会第 88 回大会での報告の論文化へ)